

＜マスメディア各社へご案内＞

平成 28 年 10 月 11 日

街全体がコンベンションに！「No Maps GO!」アプリ配信開始！

～居る場所に応じた情報にアクセスできる No Maps GO!～

No Maps 実行委員会では、「映画」・「音楽」・「インタラクティブ(IT 先端技術など)」の 3 分野からなる国際ビジネスコンベンション「No Maps 2016」を 10 日(月・祝)より開始しました。

札幌市内中心部を会場として 3 分野と複合領域での作品上映、ライブ、トレードショー、カンファレンスやワークショップなどを展開。クリエイティブ産業の活性化と他産業への波及、創業支援・新産業の創造や投資の促進などに寄与するとともに、クリエイティブな市民文化の醸成につなげていくことなどを目的としています。

この開催にあたり、「スマートコンベンション構想」を掲げ、街全体をフィールドとした実証実験を行っていきます。

「スマートコンベンション構想」では、スマートフォン普及に伴うコンベンションのありかたを検討し、「情報へのショートカット」、「プッシュ(送る)とプル(引き出す)の融合」、「インフラの整備(NFC/QR/BLE ビーコン)」の 3 つの要素を軸に、参加者に必要な情報を必要なタイミングで伝えることを目指しています。No Maps 公式アプリ「No Maps GO!」は、この構想を実現する重要なツールとして、街全体とスマートフォン、そして No Maps をつないでいきます。



■ アプリ画面

No Maps 実行委員会と株式会社東急エージェンシーが共同で企画・運営。札幌市、札幌市交通局、株式会社札幌都市開発公社、札幌駅前通まちづくり株式会社、札幌市商店街振興組合連合会、札幌狸小路商店街などの協力により情報インフラの構築を行うことで、この実証実験が実現しました。

システム開発は、株式会社アクアビットスパイラルズ、Tangerine 株式会社のベンチャー2社による共創で実現。それぞれが得意とする NFC 技術、BLE ビーコン技術を利用しています。

No Maps 2016 開催期間中のイベント会場、オーロラタウン、ポールタウンや地下鉄大通駅地下コンコース、札幌駅前通地下歩行空間、札幌狸小路商店街などで、アプリをインストールした参加者への適時・適切な情報発信を実現するとともに、参加者側も能動的に BLE ビーコン、パネルやポスターをタップ(NFC/QR コード)することで情報受信ができます。

札幌市内に 150 カ所以上の BLE ビーコン、およそ 700 枚の NFC タグカードを設置したこの実証実験は、札幌では過去最大規模の取組であり、この結果は、No Maps に限らず、ICT を活用したまちづくりや観光・MICE 事業などを推進していく上でも効果的に活用していくことができるものと考えており、今後の札幌のまちづくりに展開されていくことが期待されます。



No Maps GO!

無料 iOS版/Android版 (2016年10月リリース開始)
GooglePlay、iTunes Appより「No Maps GO!」で検索
<https://no-maps.jp/go/>

【<No Maps GO! アプリ スマートコンベンション構想 解説>

ポスターなどをタップすることで、会場で実施されている内容に簡単にアクセスできます。



No Maps インフォメーションボード
(左)IC タグ付きのポスター
(上) タップボード

トレードショー会場などでは小型のインフォメーションボードがあり、企業の情報や商品情報に簡単にアクセスできます。会期終了後、資料をまとめてダウンロードしたり、音楽ライブではアーティストとの記念写真をダウンロードできたり（※この機能は13日より利用可能となる予定）、どの会場、どのブースをいつ回ったか、自分のログ（足跡）を確認することもできます。



<BLE ビーコンを利用した情報通知>

地下街などに設置された BLE ビーコン機器の近郊を通過するだけで近隣会場の情報が通知されます。

また通過したポイント、訪れた場所などを集積し、次年度以降のイベントに役立てる予定です。情報の発信や検索だけではなくアンケートなども実施し、来年の本開催に向けた情報集積を行っていきます。

<会期中問い合わせ>

No Maps実行委員会 事務局 (担当：廣瀬・北田)

TEL 090-8706-8181 (mobile)

お問い合わせ時間：10:00~20:00